

# Ikegami



Corporate Data

## Top Management Message

グループ一体となって、お客様の夢や希望を形にしていきます。

Ikegami は最先端の技術を駆使し、多様な価値観を持つお客様の声に応え続けてきました。その源泉をIP&T (Image : 撮像、Process : 画像処理、Transmission : 伝送) 技術と位置づけ、さらに研ぎ澄ますこと。そして周辺・関連技術と融合していくこと。それこそが真にお客様が求めるソリューションに繋がる道であると考えています。Ikegamiは、グループ一体となって映像関連技術を探求し続け、お客様の夢や希望を形にしていきます。今も、そしてこれからも情報通信と画像のプロフェッショナルであり続けるIkegami の提案と実行力にご期待ください。



代表取締役社長 清森 洋祐



### 会社概要

商号	池上通信機株式会社 IKEGAMI TSUSHINKI CO.,LTD.
従業員数	715名(連結887名) ※2021年3月末現在
創立	昭和23年2月21日 ※個人創業：昭和21年9月10日
主要製品	放送用カメラシステム、放送用モニタ、映像制作・送出システム、映像伝送システム、中継車システム、セキュリティカメラシステム、医療用カメラシステム、各種外観検査装置等
資本金	7,000百万円 ※2021年3月末
連結売上高	21,850百万円 ※2021年3月期

### 取締役・監査役・執行役員

※2021年6月現在

代表取締役社長	清森 洋祐
常務取締役 社長補佐 常務執行役員経営管理本部長	青木 隆明
常務取締役 社長補佐 常務執行役員システムセンター長	小島 睦
取締役 上席執行役員社長室長 兼 経営管理本部長補佐	田村 公広
取締役 上席執行役員営業本部長	篠田 広司
取締役 上席執行役員プロダクトセンター長	北田 初夫
社外取締役	永井 研二
社外取締役	薄田 賢二
社外取締役	安田 明代
社外取締役	秋津 勝彦
常勤監査役	小原 信恒
社外監査役	渡辺 敏治
社外監査役	川口 潮
執行役員 社長付	大熊 正好

沿革

昭和21年（1946）

- 初代社長 斎藤 公正が東京都大田区堤方町913番地に「池上通信機材製作所」を創立。トランス、チョークコイル、電源機器の製造を始める。

昭和23年（1948）

- 株式会社に組織変更。

昭和25年（1950）

- 周波数特性自動記録装置を開発。セット機器1号機として日本のオーディオ界に貢献。



昭和26年（1951）

- 商号を「池上通信機株式会社」に変更。テレビジョンスタジオ装置関連の製造・販売を開始。

昭和30年（1955）

- 自主開発製品の第1ステップとしてモノスコープカメラを開発。受像機調整用装置として国内受像機メーカー全てに納入。

昭和36年（1961）

- 東証第二部へ株式を上場。

昭和37年（1962）

- 放送用小型テレビカメラ「ハンディルッキー」1号機を米国CBS様に納入。人工衛星オーロラ7号の打ち上げ実況中継に使用される。

昭和39年（1964）

- 米国法人をニューヨークに設立。（昭和53年ニュージャージー州に移転）

昭和45年（1970）

- 西独駐在員事務所をデュッセルドルフに設立。（昭和53年ノイスに移転）

昭和46年（1971）

- カラーカメラTK-301Aを開発。NHK様（全国配備）を始め民放各社に納入。「カメラの池上」の基盤を確立。



昭和48年（1973）

- 医用カメラ（MK-309）を開発。
- メディカルエレクトロニクス市場へ進出。

昭和53年（1978）

- カラーハンディカメラ（HL-79A）を番組制作用（屋内・屋外）カメラの高級機として開発。



昭和56年（1981）

- カラースタジオカメラの自動調整デジタルコンピュータの開発により、エミー賞受賞。

昭和58年（1983）

- カラーカメラ（EC-35）の技術開発により、エミー賞受賞。



昭和59年（1984）

- 東証第一部に株式を上場。
- 光ケーブル・データ通信回線、コンピュータ技術等を駆使した全国ネットワークシステム（日本中央競馬会様による全国的映像情報サービス網の構築）をニューメディア時代の実証例として完成。

昭和61年（1986）

- 新型ヘリコプターテレビ中継システムを開発。緊急報道（テレビ局）、災害時の救助活動（警察）に威力を発揮。

平成元年（1989）

- 3DカラーカメラシステムLK-33を開発。高画質で人間の感覚に近い自然な立体映像撮影・表示を実現。



平成6年（1994）

- 「スキンディテール」と呼ばれる「コントロール・エッジ・エンハンスメント技術」により3度目のエミー賞を受賞。

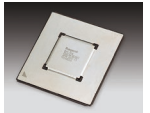
平成7年（1995）

- ハードディスク一体型放送用カメラレコーダ EDITCAMを開発。新しいコンセプトのポータブルメディアツールとして注目を集める。



平成12年（2000）

- 0.18μm製造技術を採用し、最先端の放送用カメラASICを開発。放送用カメラに搭載するのは世界初。



平成13年（2001）

- 夕留社屋の放送設備として日本テレビ放送網株式会社様よりHDTVカメラシステム計37式を大量受注。

平成14年（2002）

- 台湾高速鉄道（台湾新幹線）様向けCCTV（監視カメラ）システムを一括受注。

平成16年（2004）

- パリ交通公社「RATP」様が運営する鉄道、路線バスなどの交通網監視設備として監視カメラ3000台を大量受注。

平成19年（2007）

- 厳しい宇宙環境に耐えられるカメラを開発。月周回衛星「かぐや(SELENE)」のハイビジョン動画撮影に成功。



平成22年（2010）

- 「ポータブルテーブルス記録機の開発と製品化」に対して、4度目のエミー賞を受賞。
- ※米国Avid Technology, Inc.との共同受賞

平成25年（2013）

- ドイツARRI社とのコラボレーションにより新コンセプトのシステムカメラHDK-97ARRIを開発。IABM賞を受賞。



平成26年（2014）

- シンガポールに現地法人 Ikegami Electronics Asia Pacific Pte. Ltd.を設立。

平成27年（2015）

- 世界初のハンディタイプ8KスーパーハイビジョンカメラSHK-810をNHK様と共同開発。
- 世界初の8Kスーパーハイビジョン中継車を製作。

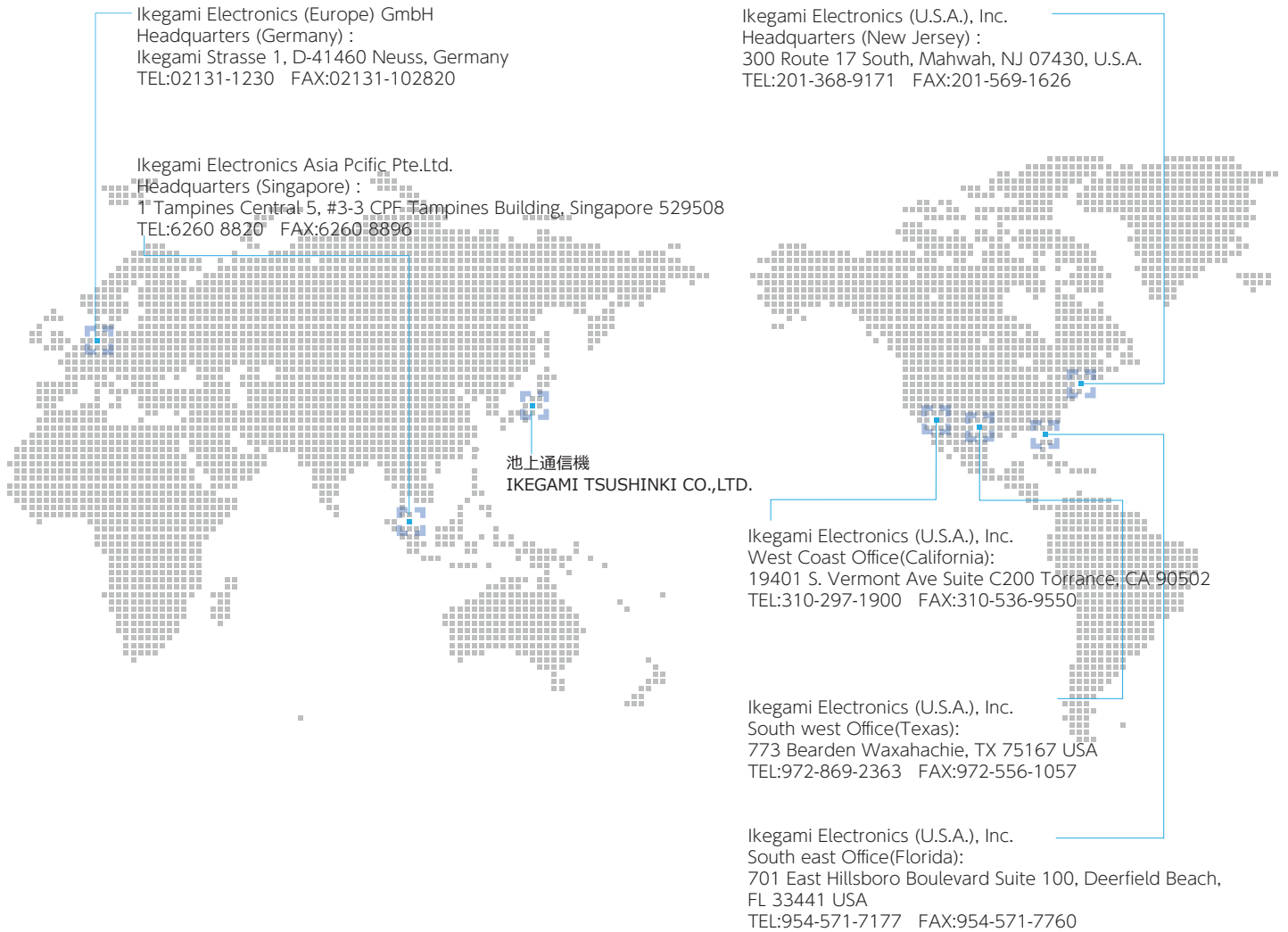
平成28年（2016）

- 創立70周年を迎える。

令和2年(2020)

- 4K/HDポータブルカメラシステム UHK-X700を開発
- 世界最速の処理量（70万錠/時）を誇る錠剤検査装置TIE-10000を開発

## GLOBAL NETWORK



## 国内拠点

- 本社  
〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16  
TEL : 03-5700-1111 (大代) FAX : 03-5700-1137
- 営業本部  
〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16  
TEL:03-5748-2211 (代) FAX:03-5748-2200
- 大阪支店  
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町9-6 第1江坂池上ビル  
TEL:06-6389-4466 (代) FAX:06-6389-4477
- 名古屋支店  
〒465-0051 愛知県名古屋市中東区社が丘1-1506 加藤第2ビル  
TEL:052-705-6521 (代) FAX:052-705-6523
- 福岡営業所  
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南3-7-10 STビル4F  
TEL:092-451-2521 (代) FAX:092-473-9214
- 仙台営業所  
〒983-0869 仙台市宮城野区鉄砲町西1番地の14  
富士フィルム仙台ビル6F  
TEL:022-292-2420 (代) FAX:022-292-2423
- 札幌営業所  
〒060-0051 北海道札幌市中央区南一条東1-3  
パークウエスト札幌8F  
TEL:011-231-8218 (代) FAX:011-271-7801
- システムセンター  
〒251-8513 神奈川県藤沢市小塚400  
TEL:0466-24-8900 (代) FAX:0466-24-8940
- プロダクトセンター  
〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地41-2  
TEL:028-660-3313 (代) FAX:028-613-2206
- 調達統括部  
〒210-0826 神奈川県川崎市川崎区塩浜4-13-15  
TEL:044-388-8240(代) FAX:044-388-8239
- 関連会社  
● 株式会社テクノイカガミ  
〒210-0826 神奈川県川崎市川崎区塩浜4-13-15  
TEL:044-270-5471 (代) FAX:044-270-5493